

2021年7月期第2四半期 決算補足説明資料

2021年3月9日
株式会社アースインフィニティ
[7692]

2021年7月期第2Q業績

上期売上予算達成

四半期累積売上高は、19億51百万円、
電力需要が低下している中、当期上期予算達成
また、人員増員を行い2Q末時点の営業人員数は26名と順調に採用を行っている。

売上高

19億51百万円

営業利益

54百万円

- 上場に伴う人員数の増員・契約件数の積上げ
- スtock型ビジネスによる堅調な売上・利益の積上げ
- 相対取引や市場取引の調達コストを抑えることによる利益率の改善

新型コロナウイルス感染症の影響について

- 現時点で、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり事業継続に大きな支障はない

当社事業への影響

エネルギー事業（小売電気・ガス小売）

景気動向によらず需要が存在する事業であります。営業自粛などの影響による電力需要の低下は見込まれます。

同様に、電力需要の低下に伴う市場単価の下落も見込まれるため、業績に与える影響は軽微であります。

電子機器事業

リプレイス販売を中心に行っており、業績に与える影響は限定的であると見込まれるため、業績に与える影響は軽微であります。

市場価格高騰について

■ 12月中旬より1月下旬まで発生していた、一般社団法人日本卸電力取引所(以下、「市場」)での電力取引価格の異常高騰について

相対取引によるリスクヘッジ

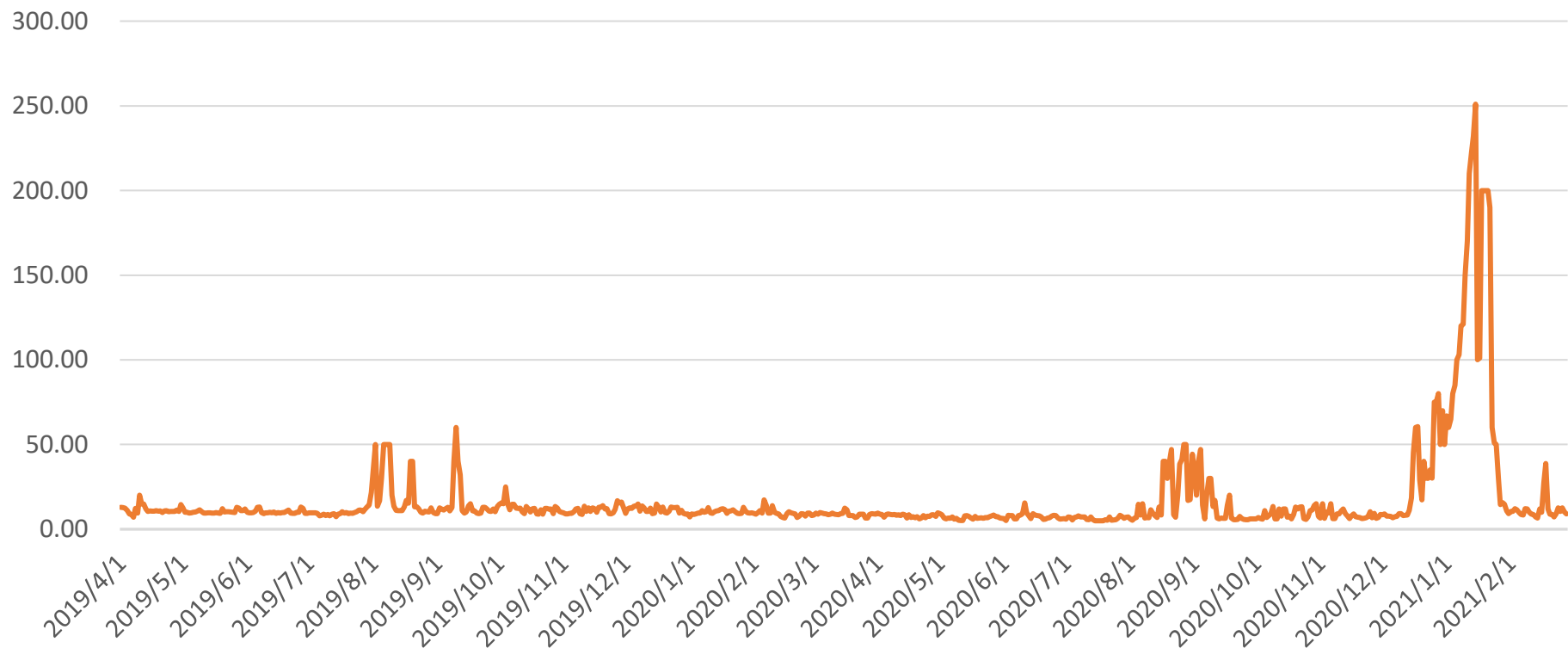
当社では、「相対取引」での調達割合を段階的に増加させ2月末までは相対取引での調達量をほぼ全てにすることで対応した。

現時点（2021年3月9日）では調達量を通常通りに戻している。

業績への影響

市場の取引価格高騰は想定を遥かに上回るものであり、第2Qにおいて業績に影響は与えている。

JEPXのシステムプライス推移



(一般社団法人 日本卸電力取引所HPより引用 各日の最高値を集計)

通常の市場の電力価格は高い時でも1kWhあたり数十円程度。これまではそうした高値になるときも、ごく短期間に限られていた。

それが今回2020年12月中頃を境に、実に1カ月近くにわたってあらゆる時間帯に1kWhあたり数十円、高いときには250円以上にまで跳ね上がるという、異例の事態となりました。

2021年7月期下期の計画について

■ 次の計画を下期の業績回復への柱としておこなっていく

販売代理店網の拡大

契約締結を行った、下記2社に加えて更に拡大を図ることで営業網を広範囲で展開する。

2021年2月 BuySell Technologies社

出張買取を中心にネット型リユース事業を行っている。

2021年3月 アクアバンク社

水素水ウォーターサーバーのレンタル・販売およびポータブル水素ガスの吸引機の製造・販売を行っている。

入札案件の積極的参加

人員数の増員による契約件数の積上げに加え、自治体・官公庁等、公的施設への入札に積極的に参加する。

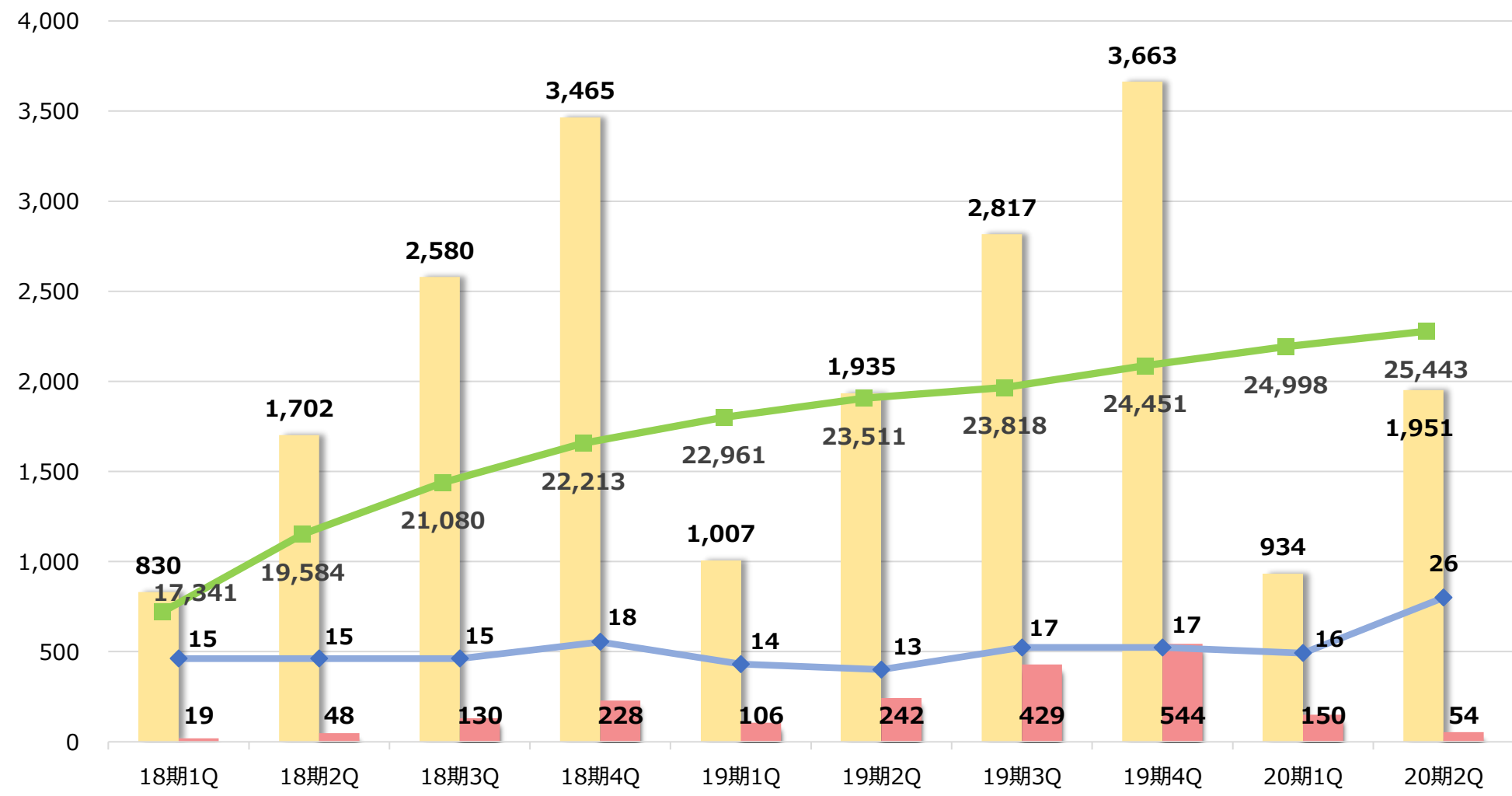
入札参加のピークが1月～3月となり、2021年2月末時点で落札金額が昨年の1.5倍以上と大きく伸ばしている。

落札した公的施設への供給開始時期は3月・4月が多く下期の契約件数・販売電力量の増加を見込む。

四半期 業績推移（累積）

(単位：百万円)

売上高 経常利益 営業人員数（名） 契約件数（件）



2021年7月期第2Q P / L （前年同期比）

電力需要の低下に伴う1顧客あたりの使用量が減少しているものの売上高昨年同期比で**売上高0.8%増**
一般社団法人日本卸電力取引所での電力取引価格の異常高騰に伴う影響を受けたが、相対取引での調達を増やすことにより対応している。

(単位：百万円)	2020/7期2Q (実績)		2021/7期2Q (実績)		前年同期比	
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減額	増減率
売上高	1,935	100.0%	1,951	100.0%	15	0.8%
売上総利益	525	27.1%	388	19.9%	△137	△26.1%
営業利益	242	12.5%	54	2.8%	△187	△77.4%
経常利益	248	12.8%	57	2.9%	△190	△76.9%
四半期純利益	173	9.0%	36	1.9%	△136	△78.7%

2021年7月期通期 P/L（計画比）

エネルギー事業の市場の取引価格高騰が影響しているものの、
下期にかけて業績拡大を見込んでおります。

(単位：百万円)	2021/7期2Q (実績)		2021/7期 (計画)		進捗率
	金額	対売上比	金額	対売上比	
売上高	1,951	100.0%	4,001	100.0%	48.8%
売上総利益	388	19.9%	1,339	33.5%	29.0%
営業利益	54	2.8%	620	15.5%	8.8%
経常利益	57	2.9%	617	15.4%	9.3%
四半期純利益	36	1.9%	422	10.6%	8.8%

2021年7月期第2Q B/S

市場価格高騰に伴う保証金の預け入れがあったものの
安定した資金繰りとなっている。
自己資本比率についても55.5%となった。

(単位：百万円)	2020/7期末 (2020/7/31)	2021/7期2Q (2021/1/31)	増減額	主な増減要因
	金額	金額		
流動資産	1,386	1,437	51	公募による資金の増加、季節性による売掛金の増加
固定資産	74	194	119	市場価格高騰による保証金の増加
資産合計	1,460	1,632	171	
流動負債	676	650	△26	相対取引割合の増加による買掛金の増加、 法人税の支払いによる減少
固定負債	98	75	△22	
負債合計	775	726	△48	
純資産合計	685	905	219	公募増資、四半期純利益による増加
負債・純資産合計	1,460	1,632	171	

中長期の事業展開イメージ

エネルギー事業の拡大

下記の4点を主軸に事業規模の拡大を行ってまいります。

- 電気・ガスのセット販売
- 営業人員の増加
- 営業所開設・営業エリア拡大
- 販売代理店網の拡充



将来の見通しに関する注意事項

本資料は当社の企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものでなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される当社の計画、見通し、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断または考えに過ぎず、実際の弊社の経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギーの政策、法令、制度、市場等の動向、弊社の事業に必要な許認可の状況、気候、自然環境等の変動等により、本資料の記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざんデータダウンロード等によって生じた障害などに関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先
株式会社アースインフィニティ IR担当
Mail : earth-ir@earth-infinity.co.jp